

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市南区市営住宅下西園地更新棟(塩高ブロック)(仮称)	階数	地上10F
建設地	京都市下京区小稲荷町61番地ほか	構造	RC造
用途地域	防火地域、準防火地域、31m高度地区、20m第3種高度地区、高度利用地区	平均居住人員	160人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2017年12月20日
敷地面積	1,591 m ²	作成者	㈱三宅建築事務所
建築面積	577 m ²	確認日	
延床面積	3,777 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 460 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 崇仁地区 塩小路高倉ブロックで受け継がれてきた「まち、ひと、くらし」のまちづくり方針を継承し、崇仁地区の新しい顔として、人と地域をつなぐまちづくりを計画する。具体的には、崇仁地区の新しい顔としてふさわしい佇まい(まちの視点)、すべてのひとにやさしい、安心・安全な建物(ひとの視点)、豊かなくらしを可能とするすまいづくり(くらしの視点)と、創造・交流・賑わいのまちとして更なる発展を目指す計画とする。		その他
Q1 室内環境 高度な断熱性能を確保[断熱等性能等級4] F★★★★の建築材料を全面的に採用[ホルムアルデヒド対策等級3]	Q2 サービス性能 住戸内のバリアフリー化 [住宅性能評価高齢者等配慮対策等級3] 構造躯体の長寿命化 [劣化対策等級3] ぬくもりを感じられる地域産木材の使用等	Q3 室外環境(敷地内) 景観地区にあり、勾配屋根や水平庇の他、外観の色彩等まちなみ・景観に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 太陽光発電システムを採用し、LED照明器具の採用による省エネルギー化を図る。	LR2 資源・マテリアル ノンフロンタイプ断熱材など汚染物質非含有材料の使用等	LR3 敷地外環境 利便性・安全性に配慮した駐車場及び駐輪場を確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される